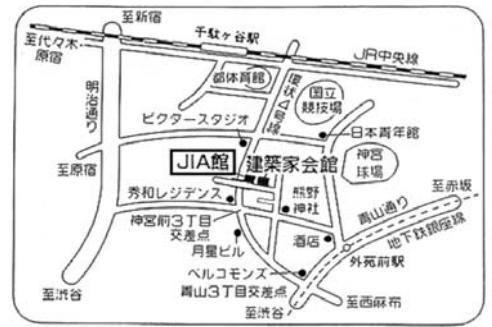


3.11とグローバルデザイン出版記念トーク・パーティ (CPD: 認定申請中)

日 時 : 6月8日(金)18:00~21:00
 場 所 : JIA 館 1F 建築家クラブ
 パネラー : 長島孝一、新居千秋、松原弘典、林昭男、大野二郎、渡邊研司、連健夫
 コメンテーター : 内山節 (哲学者・立教大学大学院教授)
 参加対象 : 会員及び一般及び学生
 申込 : 事前が必要 (FAX; 03-5549-9889 / e-mail; takeo@muraji.jp)
 参加費 : 会員・一般1000円 / 学生500円
 主催団体 : デザイン部会 協力: 鹿島出版会
 詳細 : <http://www.muraji.jp/news/garden.pdf>



新刊

震災は、 建築と都市を 変えるのか。 「専門家」の役割とは—。

2011 年秋、
 UIA (国際建築家連合) 東京大会にて発表された
 建築家・長島孝一、新居千秋、チャー・ミンシック、
 松原弘典、チャン・トーマス、連健夫、
 そして哲学者・内山節らによるメッセージと白熱の討論。
 グローバルとローカルの狭間でつまずいてる
 建築デザインの、パラダイムシフトへの挑戦。

3・11とグローバルデザイン
 世界建築会議からのメッセージ
 日本建築家協会・デザイン部会 編著
 出版社: 鹿島出版会
 2012年3月刊行
 定価 2400円+消費税 (2520円)
 A5判 並製カバー付き 168ページ
 英文併記 (Summary)

3.11 and Glocal Design
 A message from the UIA
 Author: The Japan Institute of Architects / Design Department
 Publisher: Kajima Institute Publishing

Published

3・11とグローバルデザイン 世界建築会議からのメッセージ

3.11 and Glocal Design A Message from the UIA

日本建築家協会・デザイン部会 編著

私たちが求めるグローバルな建築は時代を超えて
 前向きに生成的な価値をもつもの..... 長島孝一
 本当は力があるのに行動しない人を刺激して
 覚醒させるのも建築家の役目であり、そういう意味で
 建築の構築する力を信じている..... 新居千秋
 これはグローバルなのか、あるいはローカルのアプローチなのか。
 普遍化すること、想定外であると諦め、個別解として対応すること、
 ときにそういう姿勢も大事..... チャー・ミンシック
 「精度のない」「最終形のない」「押しつけない」建築を
 グローバルな建築と言ってしまうかもしれない..... 松原弘典
 「専門家」は、あまりそこに長くいてはいけない..... チャン・トーマス
 「関係」をだれかが代弁することでしか、
 本当はデザインというものは無いのではないか..... 内山節
 いまや、設計の条件は与えられるものではなく、つくっていく..... 連健夫

鹿島出版会 定価(本体2400円+税)



<目次>

はじめに	芦原太郎
1	
グローバルデザインとはなにか	連健夫
コラム 地球環境時代の地域環境デザイン	大野二郎
2	
グローバルアプローチとはなにか	長島孝一
コラム グローカルマインド — ゲデスとドクシアディスから学ぶこと	渡邊研司
3	
二世紀のデザイン	日本の近代化、世界の近代化は成功したのか
マス・グローカリティ・スタディーズ	チャー・ミンシック
三つの「ない」建築	松原弘典
ホワイトウオッシュ	チャン・トーマス
4	
「討論」	グローバルデザインが建築を変える
	連健夫/長島孝一/新居千秋/チャー・ミンシック/松原弘典/チャン・トーマス/内山節
	コラム 災害復興とグローバルデザイン
	林昭男
まとめにかえて	連健夫